

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (地域住宅支援) 事後評価書 (中間評価書)

平成27年 9月 3日

計画の名称	1 再開発事業を契機とした中心市街地の再生とにぎわい創出計画																																	
計画の期間	平成22年度 ~ 平成24年度 (3年間)					交付対象	秋田県 秋田市																											
計画の目標	秋田市中心市街地の空洞化を象徴する大規模低未利用地の解消と都市機能の更新を図る中通一丁目地区市街地再開発事業を契機に、その活力を中心市街地全体に波及させる施策を連携して展開し、人々が住み、集い、買い物などで賑わう、中心市街地本来の姿を取り戻すことを目指す。																																	
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地における歩行者・自転車通行量を33,440人(H21)から42,000人(H24)に増加(H19比約1.3倍)</li> <li>中心市街地における定住人口を3,517人(H21)から3,600人(H24)に増加(H19比約1.1倍)</li> <li>中心市街地における小売業年間商品販売額を522.4億円(H19)から610億円(H24)に増加(H19比約1.2倍)</li> </ul>																																	
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H21当初)</th> <th>中間目標値 (H23末)</th> <th>最終目標値 (H24末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 中心市街地の11調査地点の休日における歩行者・自転車通行量を調査する。(①秋田ショッピングセンター、②メガネ玉屋前、③ヤマハ秋田店前、④アトリオン前、⑤旧ビューティーコマバ前、⑥加賀正前、⑦大町公園前、⑧山下金物店前、⑨ぼぼろーど(東口)、⑩仲小路側アトリオン前、⑪市民市場前の計11地点) ・休日10:00~19:00までの歩行者・自転車通行量の上記11地点の合計</td> <td>33,440人</td> <td>39,800人</td> <td>42,000人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 中心市街地の11小字の定住人口(10月1日現在)を調査する。(大町一丁目・二丁目、保戸野通町、千秋久保田町・明徳町、千秋公園、中通一丁目・二丁目・三丁目・四丁目・七丁目) ・H22国勢調査の人口をベースとした10月1日現在の上記11小字住所に居住する人口の合計</td> <td>3,517人</td> <td>3,550人</td> <td>3,600人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ 中心市街地の小売業年間商品販売額を調査する。 ・中心市街地内の大型小売店舗からのアンケート調査結果から、中心市街地全体の販売額を推計する。</td> <td>522.4億円(H19)</td> <td>-</td> <td>610億円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H21当初)	中間目標値 (H23末)	最終目標値 (H24末)	① 中心市街地の11調査地点の休日における歩行者・自転車通行量を調査する。(①秋田ショッピングセンター、②メガネ玉屋前、③ヤマハ秋田店前、④アトリオン前、⑤旧ビューティーコマバ前、⑥加賀正前、⑦大町公園前、⑧山下金物店前、⑨ぼぼろーど(東口)、⑩仲小路側アトリオン前、⑪市民市場前の計11地点) ・休日10:00~19:00までの歩行者・自転車通行量の上記11地点の合計	33,440人	39,800人	42,000人		② 中心市街地の11小字の定住人口(10月1日現在)を調査する。(大町一丁目・二丁目、保戸野通町、千秋久保田町・明徳町、千秋公園、中通一丁目・二丁目・三丁目・四丁目・七丁目) ・H22国勢調査の人口をベースとした10月1日現在の上記11小字住所に居住する人口の合計	3,517人	3,550人	3,600人		③ 中心市街地の小売業年間商品販売額を調査する。 ・中心市街地内の大型小売店舗からのアンケート調査結果から、中心市街地全体の販売額を推計する。	522.4億円(H19)	-	610億円	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																														
	当初現況値 (H21当初)	中間目標値 (H23末)	最終目標値 (H24末)																															
① 中心市街地の11調査地点の休日における歩行者・自転車通行量を調査する。(①秋田ショッピングセンター、②メガネ玉屋前、③ヤマハ秋田店前、④アトリオン前、⑤旧ビューティーコマバ前、⑥加賀正前、⑦大町公園前、⑧山下金物店前、⑨ぼぼろーど(東口)、⑩仲小路側アトリオン前、⑪市民市場前の計11地点) ・休日10:00~19:00までの歩行者・自転車通行量の上記11地点の合計	33,440人	39,800人	42,000人																															
② 中心市街地の11小字の定住人口(10月1日現在)を調査する。(大町一丁目・二丁目、保戸野通町、千秋久保田町・明徳町、千秋公園、中通一丁目・二丁目・三丁目・四丁目・七丁目) ・H22国勢調査の人口をベースとした10月1日現在の上記11小字住所に居住する人口の合計	3,517人	3,550人	3,600人																															
③ 中心市街地の小売業年間商品販売額を調査する。 ・中心市街地内の大型小売店舗からのアンケート調査結果から、中心市街地全体の販売額を推計する。	522.4億円(H19)	-	610億円																															
全体事業費	合計 (A+B+C)	7,008百万円	A	7,001百万円	B	0百万円	C	7百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.1%																								
事後評価 (中間評価)																																		
○事後評価 (中間評価) の実施体制、実施時期																																		
事後評価 (中間評価) の実施体制						事後評価 (中間評価) の実施時期																												
						公表の方法																												
1. 交付対象事業の進捗状況																																		
交付対象事業																																		
A 基幹事業																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考																	
											H22	H23	H24	H25	H26																			
A-1	住宅	一般	秋田市	間接	再開発組合			中通一丁目地区第一種市街地再開発事業	商業施設、公共公益施設、居住施設、駐車場等1.7ha	秋田市						4,961																		
A-2	住宅	一般	秋田市	間接	再開発組合			都市・地域再生緊急促進事業	商業施設、公共公益施設、居住施設、駐車場等1.7ha	秋田市						823																		
A-3	住宅	一般	秋田市	直接	秋田市			中通地区暮らし・にぎわい再生事業	市公共公益施設購入(約5,200㎡)	秋田市						1,217																		
											合計	7,001																						
B 関連社会資本整備事業																																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考																		
										H22	H23	H24	H25	H26																				
											合計																							
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																						

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
C-1	活動支援	一般	秋田市	間接	(株)秋田駅前駐車場公社		中心市街地駐車場共通ポイントカードシステム導入事業	買い物ポイントによる駐車場利用システムの導入	秋田市						0	
C-2	社会実験	一般	秋田市	直接	—		タウンビークル運行事業	タウンビークル運行社会実験等	秋田市						7	
										合計					7	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
C-1	再開発事業による大規模駐車場の完成に合わせ、本システムを導入することにより、中心市街地への来街動機付けの向上と回遊性の向上に寄与する。	
C-2	再開発エリアを中心に、主要な集客施設や公共公益施設をつなぐタウンビークルを運行することにより、利用者による人の流れが生まれ、回遊性の向上に寄与する。	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・中通一丁目地区市街地再開発事業による集客施設への来街者の増加と中心市街地循環バス（タウンビークル）の運行により回遊性が向上し、通行量が増加した。</li> <li>・中通一丁目地区市街地再開発事業による居住施設が平成24年9月に完成し、中心市街地の居住人口が増加した。</li> <li>・再開発事業による商業施設や公共公益施設が完成し来街者は増加したものの、社会経済状況や郊外型店舗への消費流出から小売業商品販売額の減少傾向は続いている。</li> </ul>			
II 定量的指標の達成状況	指標①（歩行者・自転車通行量の増加）	最終目標値	42,000 人	目標値と実績値に差が出た要因	中通一丁目地区市街地再開発事業の完成により、平成24年7月に「エリアなかいち」としてオープンしたこと、また、エリア内の集客施設や様々なソフト事業が広く周知されたことから、「エリアなかいち」とJR秋田駅周辺施設との連携により回遊者が増加し、中心市街地全体の通行量が底上げされたため。
		最終実績値	(H25末) 46,282 人		
	指標②（定住人口の増加）	最終目標値	3,600 人	目標値と実績値に差が出た要因	中通一丁目地区市街地再開発事業による居住施設（マンション）が完成したことにより、中通一丁目地区の定住人口は増加している。ただし、大町地区等の周辺の一部地区における人口が減少し、全体として目標値を達成できなかった。
		最終実績値	(H25末) 3,579 人		
	指標③（小売業年間商品販売額の増加）	最終目標値	610 億円	目標値と実績値に差が出た要因	中通一丁目地区市街地再開発事業の完成により、平成24年7月に「エリアなかいち」としてオープンしており、オープン当初から当初想定した利用者数を上回っている。このように中心市街地への来街者は増加しているものの、経済情勢の悪化による全国的な消費の落ち込みや郊外型店舗への消費の流出等の要因が重なり、小売業年間商品販売額の減少に歯止めがかからなかったため。
		最終実績値	(H25末) 409.9 億円		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・再開発事業による商業施設、公共公益施設、駐車場の完成による来街者の増加と市の中心市街地商業集積促進補助制度などの活用により、中心市街地内の空き店舗数は大きく減少している。</li> </ul>			
3. 特記事項（今後の方針等）					

(参考様式3) (参考図面) 地域住宅支援

